

総合的な学習の時間学習指導案

単元名「お米のひみつを探ろう」

令和元年11月19日(火) 第1校時 5年〇組教室

5年〇組 指導者 〇〇 〇〇

II 本時の学習

<ねらい>

パネルディスカッションで友達の考えを聞いたり質問したりして、自分の考えを深める。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p><めあて> 友達の考えを聞いて、自分の考えを深めよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> パネルディスカッションの流れを確認する。 日本の米づくりの課題について確認する。 <p>・お米の消費量が減っている。 ・米作りする人の高齢化。</p>
<p>2 パネルディスカッションを行う。(20分)</p> <p>流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①はじめの言葉 (コーディネーター) ②パネリストの自己紹介と発表 ③パネリスト相互の質問や意見交換 ④フロアからの質問や意見 ⑤まとめと終わりの言葉 (コーディネーター) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の対話を活発にするため、コーディネーターは教師が行う。 パネラーの立場が分かるように、黒板に意見や根拠を掲示する。 話し合いの流れによってはコーディネーターも質問する。 フロアからも積極的に意見や質問を引き出すため、場合によっては指名する。
<p>3 最終的な自分の考えをまとめて発表する。(15分)</p> <p>T: ワークシートに最終的な自分の考えをまとめよう。 ↓ 挙手して発表 S: 「わたしは、〇〇をするのがいいと思います。それは、～ だし、～ だからです。」</p> <p><まとめ> 米づくりについての最終的な考えを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 考えの変化がわかるようにワークシートを工夫する。 根拠を2つ以上書くように指示する。 時間の許す限り、多くの児童に発表させる。 進んで発表できた児童に対して、がんばりを賞賛することで、他の児童の発言を促す。 <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート・発表の様子) パネルディスカッションを通して考えを深め、最終的な自分の考えをまとめている。</p>
<p>4 今日の学習をふり返る。(5分)</p> <p><ふり返り> ・パネルディスカッションを通して友達の考えを聞いて、交流のよさを感じ、自分の考えを深められたかを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふり返り用のワークシートを用意する。 パネルディスカッションのよさを確認する。

<p>まとめ</p> <p>最終的な自分の考えをまとめよう。 ☆根拠を二つは入れよう。</p>	<p>パネルディスカッションをする時の注意点</p>	<p>めあて</p> <p>米づくりの未来を守るために 友達の考えを聞いて、自分の考えを深めよう。</p>
<p>E</p> <p>ロボットや人工知能を使って、米づくりをする。</p>	<p>D</p> <p>給食の主食をお米を使ったものにして、消費を増やす。</p>	<p>C</p> <p>米づくりの会社を作って効率よく生産し、給料アップをめざす。</p>
<p>B</p> <p>日本のお米のおいしさをネットでアピールし、輸出を増やす。</p>	<p>A</p> <p>米粉パンを開発して工場を作り、消費を増やす。</p>	<p>米づくりの課題</p>